

除夜の鐘

月さね

風むせぶ

墓掘る音が

どこからか聞わてくる

髑髏が出た

三四十年位のが

そこには誰の墓標とも

知れぬこけむした

ちつぽけなのが轉されてある

又音がきこわてきた

鍬の音

矢野錬明

土の音

これ人間の最後の音楽である

社會から永久に忘れられた墓標

そは人生の未來をシンボルするものだ

人間は自己に生き

社會の爲に働き

そして死ぬ

その最後は唯グレーブ

この音楽と共に消ぬ

このグレーブストーンとして

永遠にすみへ轉されてしまふ

一年の最終を告ぐる除夜の鐘がなる

人生の最後を告ぐる墓堀る音が聞えてくる。

